

トピックス

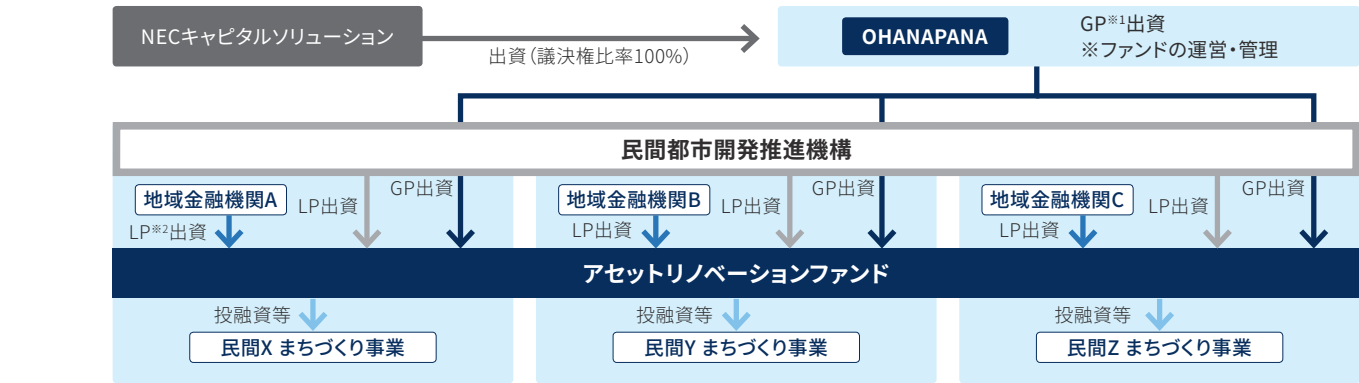
IPOによるキャピタルゲイン獲得と新ファンドの設立

当社は、2012年にベンチャー企業投資事業を開始しました。以来、テクノロジーに強みを持つベンチャー企業や社会課題解決型のベンチャー企業を投資対象とするファンドを複数設立・運営し、ベンチャー企業投資を通じた社会課題の解決と収益獲得の両立に取り組んできました。これまで投資実行した企業数は約50社、運用総額は96億円に上り、M&A等によるEXIT（持分売却）に加え、2022年3月期にはIPO（株式公開）によるEXITを複数実現する

アセットリノベーションファンドを設立

当社は、当社の100%子会社である株式会社OHANAPANAを通じ、一般財団法人民間都市開発推進機構、地域金融機関等と共同でアセットリノベーション投資事業有限責任組合（本ファンド）を設立しました。本ファンドは、国土交通省のまちづくりファンド支援業務に基づくもので、民間都市開発推進機構と地域金融機関等が連携し、築20年以上の建築物を活用して職住が近接・一体となり柔軟な働き方等に対応したまちづくりを推進します。

ファンドスキーム図



※1 GP：ゼネラルパートナー。組合運営に関し全責任を無限に負う無限責任組合員のこと。
※2 LP：リミテッドパートナー。資金出資者であり、その責任が出資した金額のみに制限される有限責任組合員のこと。

外食産業向けポストコロナ事業再生支援ビジネス開始

株式会社リサ・パートナーズは、株式会社U.RAKATAと共同で新型コロナウイルス感染症の感染拡大により大きな影響を受けた外食産業の中小企業向けに、産業特化型の再生支援ビジネスを開始しました。国内の外食産業は、緊急事態宣言の発出や外出自粛等の影響により、経営的に大きな打撃を受けました。この業況に対応するべく政府等が実施した資金繰り支援（コロナ融資）は、既存借入に上乗せされることから、特に、同政策の影響を大きく受けた外食産業においては、今後コロナ融資の返済が大きな課題となる可能性があります。

このような状況に鑑み、リサ・パートナーズは、

当社初のサステナビリティボンド発行

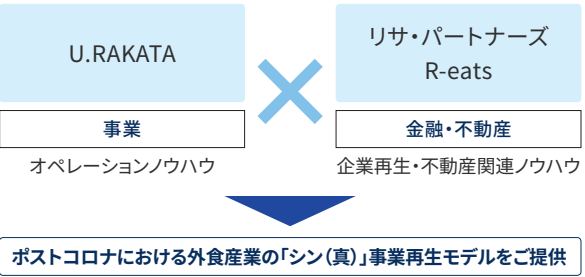
当社は、2022年3月に当社初となるサステナビリティボンドを発行し100億円の資金調達を実施しました。サステナビリティボンドとは、調達資金の使途をグリーンプロジェクト及びソーシャルプロジェクトに限った債券です。当社グループは、CSV経営実現に向けた社会価値向上の取り組みとして「社会・ICTインフラの整備」、「地域社会・経済の活性化」、「地球温暖化の防止」、「高齢社会への対応」を掲げています。サステナビリティボンドで調達した資金は、グリーンプロジェクトとして「地球温暖化の防止」の取り組み、

基幹システムのDX推進

中期計画2020に掲げる「事業戦略を支える経営基盤の強化」の実現には、新たなビジネスモデルに対しスピーディかつ柔軟に対応できる基幹システムが必要不可欠です。

これを実現するため、当社はアビームコンサルティング株式会社が進める共同利用型ビジネスプラットフォームの開発に参画し、基幹システムの

株式会社R-eatsを設立し、U.RAKATAと共に外食産業の再生支援を行います。リサ・パートナーズは、企業再生、成長支援等を通じて蓄積したノウハウと豊富な人材を最大限活用し、コロナ禍において事業活動に多大な影響を受けた企業・地域の再生、そして活性化に向け全力を挙げて取り組んでいきます。



ソーシャルプロジェクトとして「社会・ICTインフラの整備」、「地域社会・経済の活性化」、「高齢社会への対応」の取り組みに充当しました。なお、サステナビリティボンド発行にあたり、国際資本市場協会（ICMA）が公表する「グリーンボンド原則」と「ソーシャルボンド原則」双方への適合を確認しています。

調達資金の充当先	
グリーンプロジェクト(再生可能エネルギー)	10億円
ソーシャルプロジェクト (必要不可欠なサービスへのアクセス)	90億円

デジタル・トランスフォーメーション（DX）に取り組んでいます。

当社は、お客様向けサービス、当社の業務プロセス、及び社内システム等においてDXの取り組みを進め、2022年4月に経済産業省の「DX認定事業者」に認定されました。引き続きDXに関する各種の取り組みをより深化させ、着実な成長を実現してまいります。